

「新年賀詞交換会」の開催

日本船主協会は、2017年1月5日（木）、海運ビルにおいて新年賀詞交換会を開催した。

工藤会長は挨拶の中で、昨年は6月の英国のEU離脱決定、11月の米国大統領選挙でのドナルド・トランプ氏の選出等、垣根のないグローバル社会や世界経済にも大きな影響を及ぼしかねない出来事が相次ぎ、他方で、海運業界にとっては未曾有の市況低迷や海外大手コンテナ船社の経営破綻など、これまでにないほど厳しい状況に直面した年であったと振り返った。また、平成29（2017）年度税制改正大綱で外航海運にとって極めて重要な税制である「特別償却制度」「圧縮記帳制度（特定事業用資産の買換特例）」「トン数標準税制」の延長・拡充が認められたことについて改めて関係者への謝意を表すとともに、バラスト水管理条約およびSOx等に係る環境規制に関してはこれをチャンスと捉え意欲的に取り組んでいきたいと述べた。

来賓として挨拶した武藤国土交通事務次官は、税制改正等を通じた日本商船隊の国際競争力強化、船舶の開発から運航まで全てのフェーズでICTを活用する生産性革命プロジェクト、海賊対策等に関して、外航海運の安定的なサービス提供に寄与出来るよう取り組んでいきたいとの抱負を語られた。

続いて池田副会長から、2017年は厳しい環境下でも日本の海運業界・海事クラスターが世界をリードするポジションを固める年となるよう祈念し、乾杯した。

当日は、石井国土交通大臣から祝意のメッセージをいただくとともに、多数の国会議員、村川防衛省海上幕僚長、中島海上保安庁長官をはじめとする来賓をお迎えし総勢約600名が参加、盛会裡に終了した。



▲工藤会長



▲武藤事務次官



▲池田副会長